

広島県呉市（中核市）

1 市の概要

人口	231,008人
保護率	16.10%

2 支援状況調査（H30年度）

新規相談受付件数人口10万人当(件) 一月当たり	29.4
プラン作成件数人口10万人当(件) 一月当たり	2.1
就労支援対象者数人口10万人当(件) 一月当たり	1.4
就労・増収率(%)	42.1

3 実施方法について

実施方法	委託（単年度契約） 生活困窮者と生活保護受給者を一体的に支援
事業費	23,750千円(平成30年度) 困窮者：7,917千円 被保護者：15,833千円
理由 (委託)	○平成28年度までは、就労支援のノウハウを有する民間事業者に委託し、一般就労に従事する準備としての基礎能力の形成や計画的で一貫性のある訓練を行ってきた。しかし、長期離職や「8050問題」、ひきこもり等直ちに就労が困難な人が増加傾向にあること、中間的就労から求職活動や就労準備への支援を重視していくことから、見直し、平成29年度から公募型プロポーザル方式により、適切な企画・支援・技術・実績を持つ受託者を選定。
事業概要	○就労準備支援担当者3名を配置。常設会場を開設 ○スクール形式ではなく、参加者個々の課題、目標に合わせた個別支援 ・月4.5回程度（1回約1時間） ・マンツーマンによるカウンセリング、パソコン実習、ものづくり教室等 ○スキル状況に合わせ、個別支援から集団活動につなげる ・短期集中講座によるグループワーク、農業体験及び農産物販売 ○実務演習 ・職場見学や体験、履歴書作成、模擬面接等 ⇒ 就労支援事業へ移行又は並行
その他	○ひきこもりに対するアウトリーチ（訪問支援）の実施 ○新規就労者に対する定着支援の実施（訪問、電話連絡による支援） ○衣類等のリユース「ウェアバンク」と称し、市職員を対象として、使わなくなった衣類等（スーツ・シャツ・靴・カバン等）の寄付を募る。集めた衣類等を本事業受託事業者が管理し、面接や合同企業説明会等に参加する事業対象者に支給する。

就労準備支援事業

4 事業実績（平成30年度）

参加者	うち 就労者	支援の終了			支援継続 (次年度)
		就労継続中	就労促進へ移行 ・スキルの習得	療養専念等	
41人	16人	5人	3人	6人	27人

5 事業実施のポイント ～他部署との連携 農業体験，農産物販売の実施～

農業振興を担当する市農林水産課(農業振興センター)が就農者の人材確保や他部署との連携、交流を希望していることから農業体験を実施。施設内の空いた土地を活用。土づくりから始め、播種・苗の定植、間引き等一連の作業を農業技師より指導を受ける。外気に当たり、土に触れる機会、収穫、販売に向けたミーティング、チラシ作成、販売時の接客及びお金を扱う等を経験することで、就労の喜びと意欲を呼び起こす。また、農業体験後には園内清掃や除草等ボランティア活動を行い、担当課と参加者との相互連携を築く。



参加者の声

【農業体験】

- ♡みんなと作業することが楽しかった。みんなやさしかった。
- ♠はじめは○○くんとケンカをしたけど、最後は仲直りして一緒に作業した。涙が出た。

【農産物販売】

- ♡最初は恥ずかしかったけど、声が大きく出るようになり、笑顔でお客さんと接することができた。みんなで協力し、売完できたことがうれしかった。

6 取り組んで良かったこと

- 農業体験参加者18人中10人が就労開始。参加当時と比較して、表情が明るくなり、行動も積極的で、仲間意識が芽生える等行動力が顕著に現れている。
- ひきこもりの状態にある人や障害の疑いのある人等早期の就労開始が困難と思われた人が、この事業に参加したことにより求職活動や就労することが可能となった。